



Daisuke Suzuki



Teiji Taguchi



Ryuji Matsushita

松下隆二プロデュース

Guitar vol.2


月の光 (C.ドビュッシー)
リーヴィング・ビハインド (T.タグチ)
トリストレーザ (H.ロボ)
他、を予定

2009. 3. 28 sat

at 西鉄ホール 福岡市中央区天神2-11-3
ソラリアステージ6F

開場 18:00 開始 19:00

料金：一般 ¥3,000 ●高校生・大学生 ¥2,500 ●中学生以下 ¥2,000 (当日券はすべて¥500増)

【後援】  フォレストヒル音楽工房、九州ギター音楽協会、ピカラック、Project Shamrock

【チケット、各種お問合せ】 GUITAR事務局 担当 オークボ

TEL: 090-2397-9770 FAX: 092-516-0115 MAIL: ago18@ab.auone-net.jp



鈴木 大介 *Daisuke Suzuki*



Photo: 篠原 栄治

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。

マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。2004年6月～2006年2月まで8回にわたり、20世紀に生まれたギター音楽を毎回異なる視点でアプローチする演奏会「ギター・エラボレーション」を白寿ホールで開催。2005年には、ベルリン・パリ・東京にて、武満徹の舞台「マイ・ウェイ・オブ・ライフ」でケント・ナガノ指揮ベルリン・ドイツ交響楽団と共演。同年タイ国際ギター・フェスティバルにも出演し、2006年、同フェスティバルに再び招かれた。2006年7月、コペンハーゲン・ジャズ・フェスティバルにキャスパー・トランバーク・タケミツ・プロジェクトのギタリストとして出演。2008年2月には、ワシントンのケネディセンターにて開催されたジャパン・フェスティバルでの「A Tribute to Toru Takemitsu」に渡辺香津美、coba、八尋トモヒロと共に出演、大好評を博した。

内外の演奏家からの信頼も厚く、これまでに、クロード・ボリング、マーティン・テイラー、渡辺香津美、荘村清志、ブランドン・ロス、古部賢一、須川展也、天羽明恵らと共演を重ねている。また、小澤征爾が中心となって行われるサイトウ・キネン・フェスティバルには、ゲスト・プレイヤーおよびオーケストラ・メンバーとして、1997年以降頻りに招かれている。

現代音楽の初演や、アンサンブルとコンチェルトの膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術は、多方面からの評価を確立し、難度の高いプロジェクトにおけるファースト・コール・ギタリストの位置を維持している。

また、斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、「カタロニア讃歌～鳥の歌/禁じられた遊び～」は2005年度芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞。2006年には武満徹の没後10年を記念し、映画音楽集「夢の引用」を、2007年、2008年にリリースした「キネマ楽園」、「キネマ楽園II/夜の太陽」ギター・ソロによる映画音楽のカバーで大ヒットとなった。最新盤は、2009年に没後100年を迎えるアルベニス作品集(2008年11月発売)。

これまでにNHK-FM「クラシック・リクエスト」(1999年～2001年)、「気ままにクラシック」(2002年～2008年3月)のパーソナリティーもつとめた。

第10回出光音楽賞受賞。2005年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。

横浜生まれ。ギターを市村員章、福田進一、尾尻雅弘の各氏に、作曲を川上哲夫、中島良史の両氏に師事。ほかに、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院においてエリオット・フィスク、ホアキン・クレルチの両氏に師事。

鈴木大介のブログ <http://daisukesuzuki.at.webry.info/>

田口 悌治 *Teiji Taguchi*



Photo: 尾形 憲吾

12歳からギターを始め、17歳よりヤマハギター講師等プロ活動を始める。18歳で上京、武蔵野音楽学院に入学。北垣雅則氏にジャズギター、福村博氏に理論・アレンジを師事

1997年ニューヨークに滞在、スティーヴ・ラスピーナ(b)、アキラ・タナ(ds)等著名なミュージシャンとライブ活動を行う。1999年NY在住ピアニスト山崎比呂史を迎え、初リーダーアルバム『First Mission』を発表し九州及び四国、関西を巡るプロモーションツアーを行う。

2000年トニー・ボット(vo&p) TrioのCD『Awaken Your Voice』をリリース。同年NY在住の邦人で構成されたバンド、ブルックリンライトハウスのレギュラーメンバーとしてCDレコーディング、全国ツアーに参加。

2001年ギブソン・ジャズギター・コンテストに於いて、ベストギタリスト賞を獲得。同年5月ジャック・マクダフ・バンドの名アルトサクソ奏者として知られるアンドリュー・ビールズをNYより招聘しツアーを行う。6月山崎比呂史(p)と関西、四国ツアー。同年ブルックリンライトハウスのニューアルバム『Dancing in The Heaven』をリリース。30ヶ所にも及ぶプロモーション全国ツアーを敢行。同年12月山崎比呂史(p)、スティーヴ・ラスピーナ(b)、トニー・ジェファソン(ds)とツアー。

2002年4月渡米、NYのライブハウスで演奏活動を行い、レコーディングセッションも行う。同年8月ブルックリンライトハウス夏の全国ツアー。

2003年6月デヴッド・キコスキー(p)、シーマス・ブライク(ts)、スティーヴ・ラスピーナ(b)、アダム・ナスバウム(ds)を擁したNYレコーディングによるアルバム『Out of The Line』がWhat's New Recordから全国発売される。ジャズライフ8月号にてインタビュー記事が掲載される。スイングジャーナル、ジャズ批評などの専門誌でも好評を得る。7月自己のカルテットで『Out of The Line』プロモーションツアーを行う。11月NY在住の中西真一(sax)率いる<PRIMETIME>のメンバーとして全国ツアー。12月所属するグループ<Tri Voices>のCD『Precious Time』発表。

2004年中西真一/PRIMETIMEのCD『Sweet Memories』発表、全国ツアー。

2005年10月What's New RecordよりCD第二弾『One Four Seven』が全国発売される。全国ツアー。

2006年1月アクロス福岡の主催するジャズコンサート Jazz at Across に日野皓正グループの一員として出演する。

2008年8月20日初のギタートリオによるCD『Moment's Notice』発表、JAZZ LIFEを始め各専門誌に取り上げられ好評を博す。同レコーディングメンバーによる全国ツアー。

自己のリーダーバンドをはじめ、多数のグループでライブ及びレコーディングに参加し全国的に活動を展開している。

<http://members.jcom.home.ne.jp/tag-gtr/>

松下 隆二 *Ryuji Matsushita*



Photo: 川上 信也

7才よりクラシックギターを故・坂本一比古氏に師事。和声学を吉田峰明氏に師事。

1993年、第39回九州ギター音楽コンクール優勝。

1994年、渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院に入学。アルベルト・ボンセ、バプロ・マルケス両氏のもと研鑽を積む。

1996年、キューバにて開催された第8回ハバナ国際ギターフェスティバルに参加。福田進一氏と共演し好評を博す。帰国後はソロ・リサイタルの他、室内楽、編曲、レコーディングを盛んに行う。

2003年、映画音楽、ミュージカル音楽を中心としたソロ・アルバム『I'm a stranger here myself』をM&CRレコーズよりリリース。2006年には九州交響楽団2ndヴァイオリン首席奏者、荒田和豊とCD『パッション・ダモーレ』をフォレストヒルレコーズよりリリース。いずれも好評を博す。

オカリナ・ケーナ奏者、和田名保子を中心としたユニット「雅天空」にギタリストとして参加している他、これまでに栗原道子(シャンソン)、木下尊惇(フォルクローレ)のバックも務めるなど幅広く活動している。

フォレストヒル ミュージック アカデミーギター科講師。九州ギター音楽協会理事。福岡市在住。

<http://projectshamrocksideb.blog100.fc2.com/blog-entry-3.html>

フォレストヒル音楽工房 <http://www.foresthill-morioka.com/>

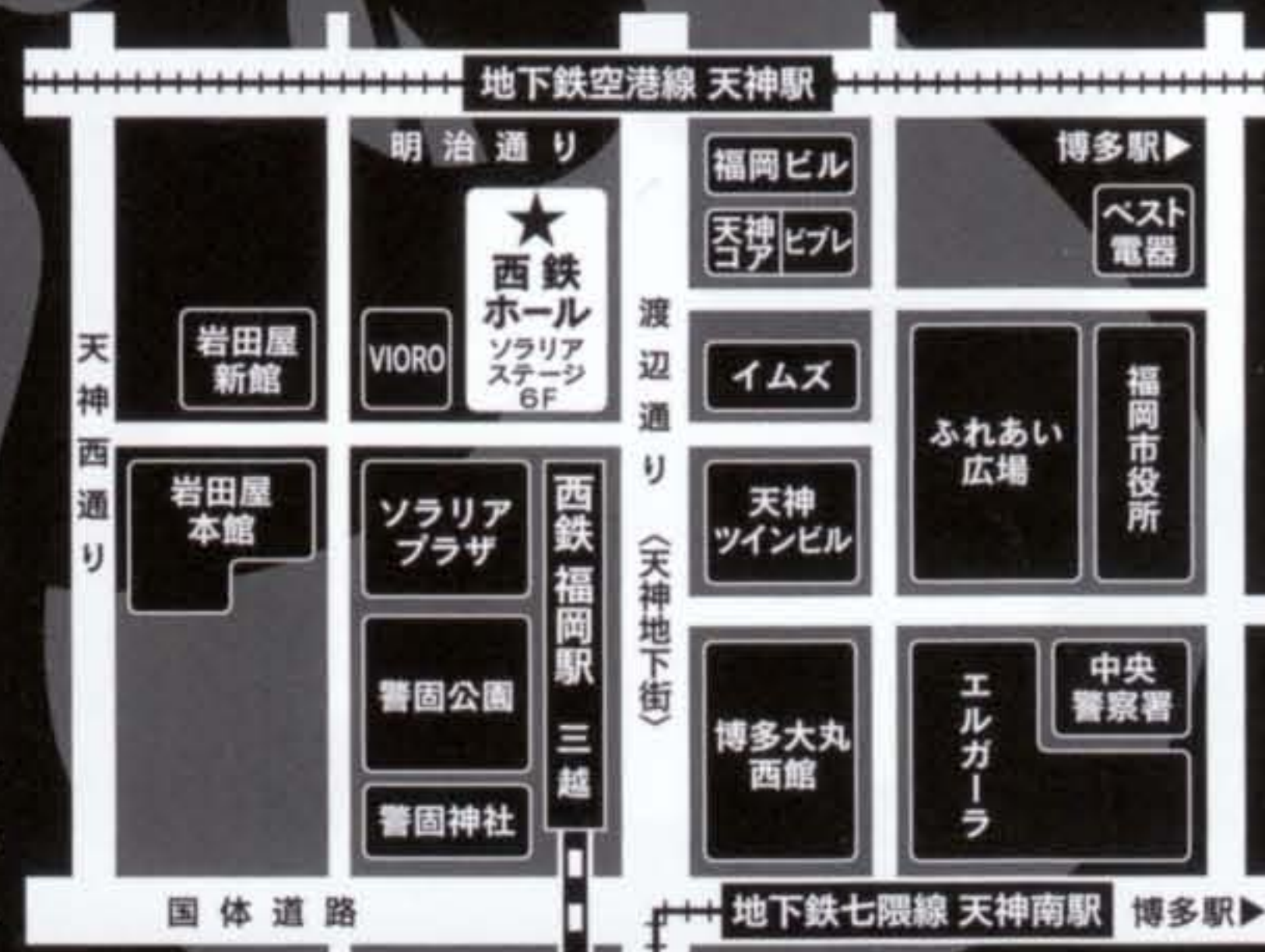
ピカラック <http://kitacute.net/myp/pikaluck/>

Project Shamrock <http://projectshamrock.blog54.fc2.com/>

西鉄ホール

福岡市中央区天神2-11-3
ソラリアステージ6F

- 西鉄福岡(天神) 駅から徒歩1分
- 地下鉄空港線 天神駅から徒歩3分
- 地下鉄七隈線 天神南駅から徒歩3分



【チケット、各種お問合せ】

GUITAR 事務局 担当 オークボ

TEL: 090-2397-9770 FAX: 092-516-0115 MAIL: ago18@ab.auone-net.jp